

富山大学・和漢医薬学総合研究所年報 33 巻 2006 年

Annual Report of Institute of Natural Medicine University of Toyama. Vol. 33, 2006

目次

巻頭言	1
研究所の使命	2
研究所の概要	3
総 説	
1. Industrial Development of Indonesian Natural Medicine Suwidjiyo Pramono	7
2. Women's health and beauty care in Indonesian traditional medicine: empowerment through enablement Mangestuti Agil	19
各部門・附属センターの活動と業績	
資源開発部門 生薬資源科学分野	37
化学応用分野	45
薬物代謝工学分野	55
病態制御部門 複合薬物薬理学分野	63
病態生化学分野	69
消化管生化学分野	85
臨床利用部門 臨床利用分野	91
恒常性機能解析分野 (客員)	97
漢方診断学部門 (寄附)	103
和漢薬製剤開発部門 (寄附)	113
附属民族薬物研究センター 薬効解析部	117

外国人客員部	129
国際共同研究部	131
民族薬物資料館	135

研究所の活動記録

2006年の活動記録	139
研究所主催のセミナー・シンポジウム・公開講座など	
第11回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー	142
第28回日本アールヴェーダ学会富山研究総会	145
第27回和漢医薬学総合研究所特別セミナー	148
「食と薬の研究会」	149
北里大学21世紀COEプログラム・富山大学21世紀COEプログラム	150
COE/JSPS-NRCT JOINT EVENING CONFERENCE	152
The 7 th Join Seminar organized by JSPS-NRCT Core University Program	153
静岡県立大学21世紀COEプログラム・富山大学21世紀COEプログラム	155
民族薬物資料館一般公開	157
部局学術交流協定	159
21世紀COEプログラム	160
新聞記事コピー	161

表紙の写真

マメ科の *Astragalus mongholicus* Bunge、黄耆、astragaloside I
(モンゴル国ウブスハンガイ県にて、2006年7月22日、小松かつ子撮影)

黄耆は古来補薬の長とされ、補中益気湯、人參養榮湯、黄耆建中湯などに配合される。これまで黄耆エキスに強壯、免疫賦活、血圧降下、利尿作用などが報告されてきたが、近年サポニン成分のastragaloside類に神経突起伸展、シナプス再形成、記憶障害改善作用も見出され、高齢者医療に有用な生薬として再認識されている。